

- ・英国がロンドンのイラン大使館に閉鎖命令。イランの英大使館襲撃への報復措置。
- ・日本の原発輸出再開へ。ヨルダン、ロシア、ベトナム、韓国との原子力協定審議。
- ・遺伝子組み換えパパイアの日本への輸出が解禁される。
- ・クリントン米務長官がミャンマー訪問。国務長官訪問は57年ぶり、歴史的節目に。
- ・文部科学省が給食の放射能汚染基準 40Bq/kg を通知。後に中川文科相が訂正。
- ・新元素が国際認定。原子番号 114「フレロビウム (Fl)」と 116「リバモリウム (Lv)」。
- ・福島第一原発事故。米エネ省が東京都の放射線量公表。αβ核種、Sr89 等も。
- ・イランが米軍の無人偵察機を撃墜。米とイスラエル、イランに「見えない戦争」展開。
- ・福島第一原発事故。汚染水が海に流出。Sr89 が約 110 億 Bq、Sr90 が約 150 億 Bq。
- ・福島第一原発事故。福島のコメから基準超セシウム相次ぐ。政府が出荷停止指示。
- ・福島第一原発事故。明治の粉ミルクから最大 30.8Bq/kg セシウム。40 万缶無償交換。
- ・東電に公的資金 1 兆円、実質国有化。火力発電所売却検討で発送電分離も視野。
- ・米務省がウェブサイト「在テヘラン仮想米大使館」開設。イランは反発し接続遮断。
- ・イエメンで「拳国一致内閣」発足。サレハ大統領の 30 年以上にわたる独裁に幕。
- ・桜島の爆発が年間最多を更新。1955 年の観測開始以来、通算 1 万回を超える。
- ・福島第一原発事故。福島県が一部住民の外部被曝量公表。4 か月で平均 1mSv 強。
- ・モスクワで下院選を巡り数万人の抗議デモ。プーチン首相、デモ扇動と米国非難。
- ・長崎県が放射線影響研究所に「黒い雨」遭遇の 1 万 3 千人分のデータ解析を要請。
- ・南アフリカのダーバンで気候変動枠組み条約第 17 回締約国会議(COP17)。
- ・政府が来年度の税制改正大綱決定。自動車重量税軽減、エコカー減税延長など。
- ・今年の世相を表す漢字に「絆」が選ばれる。
- ・CERN(欧州合同原子核研究機関)が質量起源「ヒッグス粒子」の兆候発見。
- ・公取委が新日鉄と住友金属の合併承認。鉄鋼世界 2 位「新日鉄住金」誕生へ。
- ・福島第一原発事故。福島県伊達市で国の除染実験中に作業員急死。死因非公表。
- ・福島第一原発事故。地震の揺れで配管に亀裂、保安院解析。「津波原因説」疑問。
- ・IAEA 査察。政府調査で国内複数施設に大量の未報告核物質。濃縮ウラン 4t など。
- ・オバマ米大統領がイラク戦争終結宣言。
- ・米議会が米海兵隊のグアム移転費凍結。
- ・中韓対立。黄海で違法操業中の中国漁船員が韓国海洋警察官 2 人を殺傷。
- ・陸山会公判。前田恒彦元検事が「小沢さんは無罪」と証言。東京地裁。
- ・ロシアの WTO 加盟が正式承認。
- ・プーチン首相が日露トンネル構想に言及。
- ・福島第一原発事故。政府が原子炉「冷温停止」宣言。燃料未確認、放射能漏れ続く。
- ・台風 21 号がフィリピン南部を通過。死者 650 人、不明者 800 人以上。
- ・韓国の李明博大統領が来日し、日韓首脳会談。従軍慰安婦問題など。
- ・福島第一原発事故。厚生労働省が食品のセシウム規制値を見直し。来年 4 月から。
- ・福島第一原発事故。枝野経産相が東電に国有化検討を指示。
- ・福島第一原発事故。郡山市で学校疎開の仮処分申請認めず。福島地裁郡山支部。
- ・北京で日中首脳会談(野田首相、温家宝首相)。中国国債購入合意、朝鮮半島問題など。
- ・政府が武器輸出三原則緩和を決定。ハッ場ダム建設継続を決定。公約放棄。

- アメリカで減税延長法が成立。日本では消費税増税論。
- 沖縄普天間基地問題。沖縄県が環境影響評価書(アセスメント)を受理。住民反発。
- ニューデリーで日印首脳会談(野田首相、シン首相)。原子力協定など。
- 新党大地の鈴木宗男代表が新党「大地・真民主党」届け出。民主議員ら合流。